

学校教育目標	大門大好き いい仲間 進んで学ぼう 元気な子 ○自ら問題を見つけ、進んで解決しようとする子を育てます(知) ○自分も友達も大好きな、やさしい心をもつ子を育てます(徳) ○心と体を鍛え、自分や人の命を大切にすることを育てます(体) ○大門のまちを愛し、学校やまちのために協力して働く子を育てます(公) ○多様性を尊重し、持続可能な社会の実現に向けて行動する子を育てます(開)					
	学校概要 創立 48 周年 児童生徒数: 589 人	校長 能登正明 副校長 佐々木一高	2 学期制 一般学級: 18 個別支援学級: 5	主な関係校: 瀬谷中学校 瀬谷小学校 上瀬谷小学校		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分自身を高めていく力	瀬谷中学校 瀬谷小学校 上瀬谷小学校 大門小学校	人との関わりの中で、多様性を認め合い、自らを高められる児童・生徒 ・瀬谷中ブロックの子ども像実現に向けた小中一貫カリキュラムの作成 ・推進委員会の開催のもと、各部会の組織的な運営と連携 ・学校運営協議会を設置し、地域とともに児童生徒を育てていく体制づくり

中期取組目標	○子どもが生き生きと豊かに学ぶ、開かれた学校を創ります。 ・「楽しい」「分かる」「できる」を体感する授業づくりを進め、子どもが学び合いながら自らの学力を向上させていくようにします。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、折り合いながら、協働して学校生活をつくるようにします。 ・健康な心身をつくるための生活習慣の形成や仲間づくりを進めます。 ・地域の人・もの・ことを活かした活動を通して、未来に目を向けられるようにします。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①国語科の授業づくりの研究を推進する中で、主体的に学ぶ児童の育成を図る。②4.5.6学年の一部教科担当制や専科担当によって、指導・評価につながる児童の多面的な見取りを図る。③自らの学びを調整する自主学習を推奨する。④一人1タブレット端末を主としたICT活用を推進する。
豊かな心	①児童の実態、各教科等との関連を大切に道徳科の指導の定着を図る。②人権・福祉教育、運動会等の行事、ペア学年活動などの取組、普段の学習を通して、他者の思いを想像する力の育成と自己有用感を高める。③職員人権研修や人権福祉交流部からの発信を通して、職員の人権意識を高め、UDの考え方の普遍化を図る。
健やかな体	①休み時間を使った運動遊びの紹介を充実し、体力の向上を図る。②元気がぴか週間を月1回実施し、家庭と連携して児童の生活習慣改善を行う。③栄養教諭、養護教諭と連携した健康・保健授業の拡充を行う。
特別支援教育・児童理解	①職員が同じ目線に立って声かけできる環境をつくる。②SSW、GCと連携し、学校・家庭・専門機関の連携強化を図る。また、必要に応じて機関とのケース会議を設ける。③児童用スタンダード、月目標を活用して、職員がみな同じ指導を行う環境をつくる。④子ども学習室の整備を進め、だれもが安心・安全で充実した活動を行える環境づくりを行う。
安全教育・管理	①各種避難訓練を通して、より本番を意識した災害避難・防犯マニュアルの見直しをする。②安全、安心の学校づくりのために、年度初めの職員安全研修、休み時間の校内巡視を引き続き行う。③安全強化WEEKの取組を強化し、子ども自身が考える防災意識が高まるようにする。④非常時における下校方式を見直し、自治会を単位としたエリア別下校を行い、子どもたちの安全を確保する。
未来を開く志・地域連携	①ESDを推進し、自ら課題解決していこうとする子の育成をめざした生活科及び総合的な学習の時間に取り組む。②行事、特活、農園活動に加えて各教科の学習でもESDの視点、SDGsを意識した資質・能力の育成に取り組む。③地域から学習支援や環境整備等の学校ボランティアを募り、地域と連携しながら教育活動の充実を図る。
いじめへの対応	①子どもの様子を見取り、変化があった場合は早期に対応できる風土づくりを行う。いじめ防止会議やいじめアンケートを活用し、事案の情報共有、対応を組織で行う。②トラブルやいじめ発生時の初期対応を組織で行い、丁寧に進める環境づくりを行う。③横浜プログラム等を活用し、児童相互理解を促し、いじめの未然防止に取り組む。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①校内研究において学年ブロックがチームとなった共同研究を推進する。②一人1タブレット端末を活用するための研修を計画し、ICT活用能力の向上を図る。③学年研の時間確保をはじめ、学年主任を中心とした学年経営実現に向け、チーム学年としての意識・力を高める。